



## ミニかわら版

(この資料は全部お読みいただいても60秒です)

### “丑年”設立の法人は干支最少の全国で20万6429社

2021年の干支は“丑(うし)”です。東京商工リサーチの調査によりますと、全国で丑年に設立された法人は20万6429社で、全国の約320万法人のうち、十二支では最も少ない6.4%であったことが分かりました。同調査は、東京商工リサーチの企業データベースから個人企業や倒産、休廃業・解散した企業などを除いた約320万社から、丑年に設立された法人を対象に抽出し、分析したものです。

丑年で最も古い設立は、1877(明治10)年設立の「十六銀行」(岐阜)の1社でした。次いで、1889(明治22)年に、「日本盛」(兵庫)、「セツ」(大阪)、「北海道炭礦汽船」(東京)、「ロイヤルパークホテル」(東京)など7社、1901(明治34)年に、「島田掛川信用金庫」(静岡)、「日本赤十字社」(東京)など11社です。丑年設立の上場企業は394社で、全上場企業の10.2%を占め、十二支では最も多くなっています。

設立年の最多は、2009年の7万5786社(構成比36.7%)で3割半ばを占めました。次いで、1997年の4万8083社(同23.2%)、1985年の3万2245社(同15.6%)、1973年の2万8411社(同13.8%)の順に続きます。丑年設立のうち、平成設立は12万3869社で、全体の6割(同60.0%)を占めました。一方、100年以上の1913年以前に設立された法人は83社にとどまり、構成比はわずか0.04%でした。

産業別では、「サービス業他」が6万2514社(構成比30.2%)で最も多く、次いで、「建設業」3万2504社(同15.7%)、「製造業」2万5439社(同12.3%)、「小売業」2万5012社(同12.1%)、「卸売業」1万9921社(同9.6%)、「不動産業」1万8929社(同9.1%)、「情報通信業」1万101社(同4.8%)と続き、1万社以上は7産業となっています。最少は「農・林・漁・鉱業」の2563社(同1.2%)でした。

2020年は新型コロナウイルスの感染拡大で企業活動が停滞し、在宅勤務やリモートなど、新しい働き方が求められ、当たり前が当たり前ではない“ニューノーマル”の時代の幕開けとなりました。コロナ禍の収束が見通せず、第三波が広がるなか、新しい2021年は、『辛丑(かのとうし)』、十干十二支60通りの一つで、草木が枯れ、また新しくなろうとする状態ともいわれます。コロナ禍の不安が和らぎ、一日でも早く安穏とできる日々が待たれます。

\* 詳細はこちらからご確認いただけます。

“丑年”設立の法人は全国で20万6,429社(株式会社東京商工リサーチ)2020年12月11日

[https://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20201211\\_02.html](https://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20201211_02.html)